



滋賀大学

報道関係者各位

尼崎市と連携協力協定を締結

～自治体レベルでも進むデータサイエンス人材養成～

このたび、滋賀大学は、尼崎市（市長：稲村和美氏）とデータサイエンス分野の向上とEBPM（科学的根拠に基づく政策立案）の拡充について、官学の連携により押し進めることを目的として、連携協力協定を締結します。

本学は、数理・データサイエンス・AI教育の全国展開の推進の拠点校であり、日本初のデータサイエンス学部創設以降、国内最大規模の数理・データサイエンス・AI分野のリーディング拠点として、データサイエンスの社会実装と全国的な普及を推進しております。一方尼崎市では、これまでから市のビッグデータ等を活用し「尼崎市学びと育ち研究所」を設置するなど、EBPMに取り組みられてきました。今般これを一層加速化するために連携し、行政課題の解決のための共同研究や市職員の大学院派遣を通じたデータサイエンス人材の養成を進めることで合意したものです。

つきましては、連携協力協定締結式を下記の日時・場所で執り行いますので、是非ご取材くださいますよう、ご案内申し上げます。

なお、2019年設置の大学院データサイエンス研究科では、国や県からの職員派遣を受け入れてきましたが、市区町村からの受け入れは初めての事例です。

日 時 : 令和4年3月30日（水） 11時30分～12時00分

場 所 : 尼崎市庁舎南館2階 市長室

（兵庫県尼崎市東七松町1丁目23番1号）

国立大学法人滋賀大学と尼崎市との 連携・協力に関する協定 締結式 次第

日時：令和4年3月30日（水）11時30分～12時00分

会場：尼崎市庁舎南館2階 市長室

1 開会

2 出席者紹介

稲村 和美（いなむ らかずみ）	尼崎市長
能島 祐介（のじま ゆうすけ）	尼崎市理事
位田 隆一（いだ りゅういち）	滋賀大学 学長
竹村 彰通（たけむら あきみち）	滋賀大学 データサイエンス学部長 （次期学長予定者）

2 ご挨拶

稲村市長
位田学長

3 連携・協力に関する協定 概要説明

尼崎市こども青少年課長

4 連携協力に関する協定書への署名

稲村市長
位田学長

5 写真撮影（2者、参加者全員）

6 質疑応答

7 閉会

（配布資料）

協定要旨（プレスリリース）

協定書（写）

滋賀大学データサイエンス学部パンフレット

滋賀大学大学院データサイエンス研究科パンフレット

滋賀大学データサイエンス教育研究センターパンフレット

滋賀大学データサイエンス教育研究センター報